

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	主体的・協働的な教育活動を通し、学習意欲を高め、課題解決力を育成するための教育課程の充実を図る。	①ICTの利活用や学びのサポート体制を充実させ、生徒によるアウトプットの実現や組織的に授業改善を図ることで主体的・協働的な学習を促進する。 ②年次進行型単位制の教育課程を継続して検討する。	①ICTを利活用した授業やサポートティーチャーの活用、補習等により、生徒一人ひとりの特性や学習状況に応じたきめ細やかな学習支援を行う。 ①授業見学における相互評価や生徒による授業評価の集計結果について分析し、組織的な授業改善に取り組む。 ①確かな学力の向上を図るため、外部講師による研修等を通し、言語活動の充実やICTを利活用した授業内容とその指導法に関する研究を進める。 ②引き続き、本校のミッションを踏まえ、生徒一人ひとりが進路実現できるような年次進行型単位制普通科高校としての教育課程の編成に取り組む。	①個に応じた指導を実施し、アウトプットの実現をすることができたか。補習指導やサポートティーチャーの活用・利用回数は前年度より増加したか。 ①授業見学者が前年度比増加したか。また、生徒による授業評価が向上したか。 ①言語活動やICTの利活用を取り入れた授業の実践が、生徒の主体的・協働的な学びの支援につながったか。 ②年次進行型単位制普通科高校としての完成年度を視野に入れた教育課程の編成に取り組むことができたか。					
2	生徒指導・ 支援	豊かな感性と規範意識を育み、個に応じたきめ細やかな支援教育を推進する。	①基本的な生活習慣の定着を目指し、継続的かつ日常的な指導体制や方法を検証する。 ②個に応じた支援に向け、きめ細やかな生徒指導・支援体制の充実を図る。 ③特別活動の活性化を図り、生徒の主体的な行動を促進する。	①問題行動の未然防止のために職員間の共通理解による予防教育を徹底する。 ①生徒の交通安全意識を高めるために外部機関との連携をさらに強化していく。 ②スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー及びその他の外部機関との連携をより強化するとともに、複合的、複雑化している個別の課題に対応するため、チーム支援や職員研修のさらなる充実を図る。 ②部活動への参加率向上のため、教員と生徒のコミュニケーションの機会を増やす工夫をし、部活動の活性化を図る。 ③生徒会の自主的な活動や、学校行事への積極的、恒常的な参加体制を構築する。	①生活指導通信、年次通信、年次集会等で言葉遣いや身だしなみなどの規範意識の醸成につなげることができたか。 ①生徒の意識を高め、交通安全教育を充実させることができたか。講演会、講習会や研修会の実施回数。生徒及び職員のアンケートプラス評価80%以上を実現できたか。 ②年次間での情報交換会の実施回数。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの相談による課題の解決度は増加したか。 ②部活動参加率向上に向けた工夫はできたか。年度末における入部率30%以上は実現できたか。 ③生徒会活動や学校行事に参加し生徒が達成感を得ることができたか。					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	生徒一人ひとりの進路実現を目指し、必要な基盤となる能力や態度を育成する。	①3年間を通して生徒の成長を促す系統的かつ個に応じたキャリア教育実践プログラムを充実させる。 ②他者とのかかわりあいの中で内面の成長を促し、自己理解・他者理解を図り社会性を涵養する。	①組織的・体系的指導をより充実させるため、キャリア教育に関わるノウハウの年次間での引き継ぎや情報共有を図る。 ①職員対象の研修を実施し、指導力の向上を図る。 ②キャリアカウンセリング制度や組織的な補習・面接指導等、個に応じた指導を展開する。	①キャリア教育に関わるノウハウの引継ぎや情報共有を行うことができたか。 ①指導力向上を目指す職員対象の研修会を実施することができたか。 ②キャリアカウンセリング制度の利用者数を昨年度と同程度で維持できたか。 ②組織的な補習や面接指導を行うことができたか。					
4	地域等との協働	地域や保護者等との連携・協働を促進し、学校の教育力向上を図る。	①地域や保護者等外部との連携を強化し、学校行事等の活性化を図る。 ②ホームページを始め様々な方法や機会を捉え広く情報発信し、開かれた学校づくりを推進する。	①地域貢献デーの生徒の取組みをさらに向上させるよう工夫し、日常的なボランティア活動につながる仕組みづくりを整備する。 ①様々な学校行事の周知方法を工夫し、さらなる来校者の増加を図る。 ①保護者と教職員及び生徒が連携して教育環境の整備を推進する。 ②中学生とその保護者や地域の方々に年次進行型の単位制普通科の特色について理解を深めるための広報活動を行う。	①ボランティア活動に参加する生徒は増加したか。 ①学校行事や地域のイベント等を通じた地域との交流は増加したか。 ①PTAと連携した環境整備活動が実現できたか。 ②学校説明会、進学個別相談会の参加者数は前年度より増加したか。学校ホームページの更新回数は前年度より増加したか。					
5	学校管理 学校運営	教育環境の変化に迅速に対応し、安全安心に基づいた信頼される学校づくりを推進する。	①自他を大切に、いのちの教育や防災教育を推進することで安全で安心な学校づくりを行う。 ②事故不祥事の未然防止に向けて組織的に取り組む。	①自他の安全を図り、いのちを大切にす教育や地域と連携した防災教育を推進する。 ②事故・不祥事防止のための職員研修を充実させる。 ②教育活動における「報」「連」「相」を徹底する。 ②適正かつ迅速な会計処理を行うために会計マニュアル等を改正する。 ②会計処理の様式等の共通化を図る。	①いのちを大切にす取組みの実践をさらに充実させることはできたか。 ①地域等と連携した防災に関する取組みは実施できたか。 ②効果的で充実した職員研修を実施できたか。 ②「報」「連」「相」は徹底できたか。 ②適切かつ迅速な会計処理はできたか。 ②共通の会計様式は作成できたか。					